熊地区敬老会開催される

9月12日(日)熊市民館において平成11年度の敬老会が開催されました。会員170名弱の参加と多数の来賓を迎えて式典を終えることができました。式典終了後、地元の方々による余興が行われ、会場が一段と盛り上がりました。

敬老会お祝いのことば　　熊公民館長　　塚本　國夫

皆様今日は、敬老の日を迎え、元気なお顔が拝見でき、まことに喜ばしく、心からお祝い申し上げます。来賓の皆様にはお忙しい中、ご臨席頂き有難うございます。　日本はまさしく長寿国になりました。平均寿命は男子が77歳、女子が84歳であります。刈谷市も5年かけて敬老会の対象年齢を満75歳以上に引き上げると聞いております。今年は満71歳からとなり、当熊地区の対象者は362名であります。男性が145名、女性が217名です。町別では八幡町が最も多く143名、次いで宝町が121名、熊野町が98名であります。

県、刈谷市、社会福祉協議会様から敬老祝い金とお祝い品をいただきました。有難うございます。祝い金につきましては、先日地区委員さんから80歳以上の皆様に直接届けていただきました。花泉さんや地元企業さんからも温かいご支援をいただいております。　そして豊田織機さんから入浴剤を、公民館からリモコンスタンドを、婦人会から氷砂糖を皆様にお贈りいたします。

高齢者が高齢者を介護する超高齢化社会が予想より早くやって来ました。　遅れ馳せながら来年4月から介護保険制度がスタートしますが、寝たきり、痴呆症患者を抱えている家庭にとりましては、依然負担が大きいのではと思うのであります。先日、整形外科病院に行った時、骨粗しょう症を防ぐポスターが貼ってありました。家の中での転倒骨折が意外に多いのに驚きました。身の回りの整理・整頓をして、つまずかない様に心掛けたいものです。　ボケについて、著名な精神科医の斎藤茂太氏は、脳細胞を休ませてばかりいるとダメになる。どんなことでもよい、興味を持ってゆっくりと自分のペースでこなしていくことが、ボケ防止のコツだと述べております。畑違いの人と趣味などを通じて付き合うことは、自分の生きがい幅が広がり、若さを保つことになると思うのであります。　次ぎに高齢者の交通事故について申し上げますと、歩行中の死亡事故が高い割合を占めています。　折角この年まで無事に過ごしてきたのです、くれぐれも車には気を付けましょう。

終わりに当たり、皆様のご健康をお祈り申し上げ、お祝いのことばとさせていただきます。

祝い品贈呈式風景

ご来賓の方々より頂いたお祝いのことば

刈谷市長　榎並邦夫様　　代理　教育長　近藤啓七様

本日、このように盛大な敬老会が開催され、皆様方の元気なお姿を拝見し、心からお喜び申し上げます。皆様方は、永年にわたり社会の進展に寄与され、今日の郷土の繁栄と活力ある社会をお築きになられました。ここに改めて、敬意を表するとともに、御長寿をお祝い申し上げる次第であります。

我が国においては、高齢化が進み、世界一の長寿国となっています。本市においても緩やかでありますが、この傾向は進行中であり、本市8月1日現在での高齢化率が10.9%となっております。

本市におきましても平成5年度に刈谷市老人保健福祉計画を策定し、養護老人ホーム、デイサービスセンター等の施設整備を促進し、一方で居宅サービスの充実を図ってまいりました。こうした中でいよいよ来年度より介護保険制度がスタートすることになります。　新しく始まります介護保険制度では、寝たきりや痴呆の高齢者を社会全体で支える仕組みとなっており、本市におきましても、介護保険制度について十分な検討をする一方、新刈谷市老人保健福祉計画を策定し、介護者の負担を少しでも減らすことができればと考えています。また、今後とも安心･快適で活力ある街づくりを目指すとともに、高齢者にやさしい「刈谷市」を実現するため一層の努力をし、魅力ある長寿社会づくりに邁進したいと思います。　皆様方におかれましても、これまで培ってこられた豊かな経験と知識を若い世代に還元していただきまして、いつまでも社会を支える側の人間として健康に十分留意されるとともに、交通事故等にも特に注意され、ますますの長寿をご祈念申し上げますとともに、この敬老会を主催されました、地元関係各位に対し心より感謝を申し上げまして、本日のお祝いのことばといたします。

刈谷市社会福祉協議会会長　野村重彦様　　代理　副会長　磯村義三様

本日ここに、皆様の長寿を祝う、敬老会が盛大に開催されるにあたり、一言お祝いを申し上げます。

お集まりの皆様方の血色の良いお元気なお顔を拝見いたしまして、何よりと心からお喜び申し上げます。また、長年にわたり、社会の進展に尽くされた皆様のご苦労に対し、感謝申し上げます。

私ども刈谷市社会福祉協議会では、昭和57年度から刈谷市、長寿者番付を発行しており、本年の番付に載っておられる最高齢者は、101歳の方でございます。　また、満71歳以上の方は8685人おみえになりその内90歳以上の方は373人おみえになります。この番付に載っている方も、ここにおみえになるかと思いますが、いつまでもご健康で、来年もまたこの敬老会で元気なお顔を拝見出来る事を楽しみにしています。　刈谷市社会福祉協議会におきましては、皆様方のご理解ご協力をもちまして、昨年、法人設立30周年を迎えることが出来ました。今後も皆様方のご理解ご協力のもとに「誰もが安心して暮らせる福祉の街づくり」を目標として、各種事業を推進してまいりたいと思います。

本日、ここにご出席の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、お祝いのことばといたします。

刈谷市議会議員　清水幸夫様　からもお祝いのことばが贈られました。

いつまでも　お元気で

当地区にお住まいの高齢者の現況

宝町6丁目　矢田　セキさん　97歳

豊田市八つ橋ご出身の矢田さんは、ご主人と同じ年で、そのご主人を49歳の若さで亡くされました。　半世紀近くを独身で過ごされ、現在は息子さんご夫婦と一緒にお暮らしです。　矢田さんは男の兄弟が3人で既に皆さんお亡くなりになったそうです。

朝は、6時30分から7時30分ごろに起床、家の前一杯に並べられた鉢植え園芸品に水やりをするのが日課だそうです。食事は何でも召し上がるようですが、歯の調子が少し悪くなってきたとの事で、旨いものを少しづつ頂くのを楽しみにしておられるようです。

白寿を迎える日も近づいて、また、亡きご主人の50回忌法要も5人のお子さん全員揃って出来ると息子さん共々楽しみにしておいでの様子でした。

地元の方々による余興の数々

北辰神明流修箔会熊詩吟部の皆さん
〔市民館会議室にて、毎週火曜日〕

司会　神谷智子さん

熊民踊愛好会の皆さん
〔市民館集会室にて、毎週土曜日〕

４頁につづく

熊野町４丁目　高木　ソデさん　９２歳

安城市箕輪町で育ち、昭和２年に結婚された高木さんは、１５年前にご主人を亡くされ現在は息子さん夫婦と一緒に暮らしてみえます。

元気な高木さんを象徴するように、朝は５時に起き３０分ほどの散歩、夕方にも３０分程度の散歩を日課にしておられます。

時には、友達に逢いに行ったり、買い物をするために自転車に乗って出掛けることもあります。毎日の食事は大変楽しみだそうです。特に果物が好物で三食後欠かしたことがないとのことでした。

目も耳も何不自由なくテレビ番組の中では時代劇（チャンバラ）が大好きだと即座にお答えになりました。　高齢にも拘らず、記憶が良く、息子さんたちがびっくりするときがあるそうです。

近い将来、刈谷市内の高齢者記録を塗り替えられるであろうと確信した次第でした。

地元の方々による余興

箏曲　　市川会の皆さん

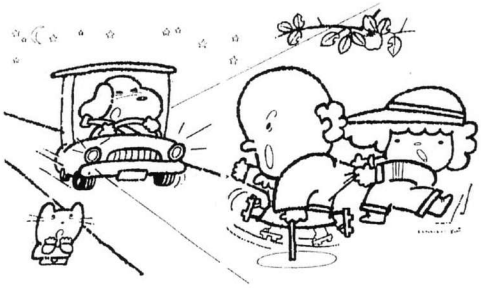
大正琴　　琴星会の皆さん
〔市民館会議室にて、隔週水曜日〕

“スポーツの秋”“行楽の秋”を迎え、人や車の動きが活発になります。

一人ひとりが交通安全の意識を高め、

交通事故の防止を図りましょう。

◎高齢者の交通事故をなくそう。
◎シートベルトの着用を徹底しよう。
◎チャイルドシートの着用を促進しよう。



☆☆☆市民館利用の**グループ拝見**☆☆☆

毎月第１・３火曜日に公民館婦人部の活動のひとつとして華道教室を開催しています。

現在23名で、池坊を、やさしい杉浦先生のご指導のもと楽しくおけいこをしています。

花泉さんが毎回すばらしい花材を届けて下さるのも楽しみのひとつです。

11月の文化展にも生徒さん方が腕前を披露しますのでどうぞ皆様ご高覧下さいます様お願いします。　婦人会長

これからの主な行事

10月10日	熊野神社例祭 子ども会神輿奉納
10月31日	親子運動会
11月　9日	古新聞・古雑誌の回収
11月10日	郷土史探訪
11月11日	婦人会１日研修旅行
11月27・28日	文化展